

## おしめ乾燥処理実績

令和7年4月～令和8年3月

		焼却量(t)	おしめ処理前(kg)	おしめ処理後(kg)	利用した熱量(MJ)	計画・目標値(MJ)	達成率(%)
令和7年	4月	416	3,480	960	5,688	8,000	71.1%
	5月	308	4,230	1,090	7,087	8,000	88.6%
	6月	272	3,370	820	5,755	8,000	71.9%
	7月	223	4,160	990	7,155	8,000	89.4%
	8月	51	3,330	810	5,688	8,000	71.1%
	9月	134	3,320	810	5,665	8,000	70.8%
	10月	466	4,110	930	7,177	8,000	89.7%
	11月	519	3,190	780	5,439	8,000	68.0%
	12月	518	3,240	830	5,439	8,000	68.0%
	令和8年	1月	408	3,740	1,010	6,162	8,000
2月		404	3,150	770	5,372	8,000	67.1%
3月		507	3,230	800	5,485	8,000	68.6%
合計		4,226	42,550	10,600	72,111	96,000	75.1%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、

温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。